

大阪府立成人病センター 整備事業

入札説明書等に対する 個別対話の結果

平成24年7月9日

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

入札説明書

入札説明書等に対する個別対話の結果

No.	資料名	該当箇所（修正前）						タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項							
1	入札説明書	10	第3	(3)		ア	(オ)	建設業務を行う者 監理技術者の要件	「監理技術者の要件」は、入札説明書と要求水準書に示されていますが「監理技術者としての施工実績」までを問うか否かで齟齬があります。要件としては、入札説明書を満たす人材ということによろしいでしょうか。	入札説明書を正とします。
2								現成人病センターにおける病院・研究所からの要望事項等	新成人病センターの計画にあたり、現成人病センター職員の皆さんから施設に関してどのような要望・改善事項が多く寄せられているでしょうか。	現成人病センター職員から要望・改善事項等については、要求水準書等に反映しております。
3								患者さんからの意見・ご要望	現成人病センターにおいて、患者さんから施設に関してどのようなご意見・ご要望が多く寄せられているでしょうか。また、「患者様満足度調査」の分析結果も公表して頂けるでしょうか。	患者さんからのご意見・ご要望について、成人病センターHP「患者総合相談室」内のご意見箱をご参照ください。患者満足度調査につきましては、成人病センターHP「ふれあい 森の宮 大阪府立成人病ニュース 第81号 平成23年 6月発行」に概要を掲載しておりますのでご参照ください。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
1	業務要求水準書（総則）	1					整備の目的	特定事業内における施設整備計画において最も大切と考えていることは何ですか。	基本的に7項目（基本構想：新成人病センターに備えるべき機能）に掲げている通りです。すべてにおいて充実強化していきたいと考えております。7点に基づいて施設計画要旨の5つの視点を合せて提示しております。7点全てについて提案してください。
2	業務要求水準書（総則）	3	第3	1			本事業においてSPCが果たすべき役割	成人病センターに常駐配置する職員は、代表企業・構成員・協力企業等からSPCへの出向者、SPCが直接雇用する従業員、業務受託企業の従業員のいずれであっても問題ないとの理解でよろしいでしょうか。また、実際に業務を実施していない段階においては、当該業務の責任者の常駐は必須ではないとの理解でよろしいでしょうか。（例：維持管理責任者が施設整備段階で常駐することは必須ではない。）	ご理解のとおりです。
3	業務要求水準書（総則）	3	第3	1			本事業においてSPCが果たすべき役割	包括的な役割の職員を常駐にする趣旨をご指示下さい。	包括的な役割の職員を常駐にするのは、病院で問題があった場合に、すぐに対応してもらいたいという趣旨です。
4	業務要求水準書（総則）	3	第3	1			本事業においてSPCが果たすべき役割	「新成人病センターの運営の効率化に寄与するという認識の下、本事業の対象となる各業務を包括的に管理するために、各業務ごとに、必要な能力・資質・経験を有する職員を成人病センター内に1人以上、常駐で配置（かかる者が本事業に含まれる業務を兼務することを妨げない。）し、事業期間にわたり効率的で円滑な業務管理を行うこと。」とありますが、ここでいう各業務ごととは、入札説明書4Pにある施設整備業務、維持管理業務、利便サービス業務であり、結果として各業務を包括的に管理する人員としては3名以上常駐で配置（かかる者が各業務を兼務することは可能であるが）が必要との理解でよろしいでしょうか。	各業務についてはご理解のとおりです。なお、必ずしも3名の職員を配置するというだけではなく、包括的に管理できる方であれば構いません。施設整備業務、維持管理業務、利便サービス業務との兼務も可能なので、SPCとしての常駐者（包括的に管理できる者）は最低1名でも要求水準書を満たしていると考えことは可能です。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
5	業務要求水準書（総則）	4	第3	2	(3)		実施運営	病院機構様が本事業とは別途委託される業務に関して、SPCに求められる具体的な役割等がございましたら、ご指示ください。また、定期的な会議を設けることは可能でしょうか。	非常時や病院機構が別途委託している業務について、必要とする事態が生じれば、協力をお願いしたいと考えておりますが、現時点では具体的な業務について特別な連携は想定していません。定期的な会議を設けることは現段階では想定しておりませんが、必要に応じてご提案下さい。
6	業務要求水準書（総則）	4	第3	2	(3)		実施運営	現成人病センターにおける成人病センター側と委託業者との連絡・調整体制についてご指示下さい。	非常時や病院機構が別途委託している業務について、必要とする事態が生じれば、協力をお願いしたいと考えておりますが、現時点では具体的な業務について特別な連携は想定していません。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
1	業務要求水準書 （施設整備編）	2	第1	1	(4)	大手前・森之宮地区の土地利用基本計画	地下鉄駅からの歩行者メインアプローチを、大阪城への人の流れを生み出す歩行者空間として整備するとしていますが、病院の運営時間外でもこの歩行者空間は使用される想定でしょうか。その場合、病院のメイン玄関の動線は専用動線を確保する必要がありますか。	地下鉄谷町四丁目駅から大阪城へ至る歩行者メインアプローチは街区中通りとして大阪府が整備します。なお、街区中通りは24時間開放される予定です。地下鉄谷町四丁目駅から成人病センターへの専用動線としての地下連絡通路はSPCが整備して下さい。なお、地下連絡通路は夜間は閉鎖される予定です。	
2	業務要求水準書 （施設整備編）	2	第1	1	(5)	イ 周辺施設との関係 共同駐車場の整備	隣接地に整備される共同駐車場について、新成人病センターとの接続レベル（想定）を提示いただけないでしょうか。また提示いただけない場合は、入札参加者が自由に想定できると考えてよろしいでしょうか。	共同駐車場は成人病センターと府警本部が利用し、大手橋線への歩道と合せて府が整備する予定です。参考計画図で想定している位置より北側での出入りは可能と考えておりますが、共同駐車場への進入路及び地盤レベルの詳細な情報は6月末を目処に提示する予定です。	
3	業務要求水準書 （施設整備編）	2	第1	1	(5)	周辺施設との関係	計画建物へのアプローチのバリアフリー化を検討する上で、西側車道・歩道からの車出入り口の位置についての条件や計画敷地とのレベルについてご教示願います。	共同駐車場は成人病センターと府警本部が利用し、大手橋線への歩道と合せて府が整備する予定です。参考計画図で想定している位置より北側での出入りは可能と考えておりますが、共同駐車場への進入路及び地盤レベルの詳細な情報は6月末を目処に提示する予定です。	

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
4	業務要求水準書 （施設整備編）	4	第1	1	(8)	埋蔵文化財調査	埋蔵文化財調査と建設スケジュールとの関係について再確認させて下さい。業者選定や調査着手を（平成24年度への）前倒しは可能でしょうか。また、埋蔵文化財調査が完了するまでにラップして本体工事を着工するなどの調整は可能でしょうか。	事業契約の完了及び調査対象区域の設定が可能となれば、業者選定業務を平成24年度（平成25年2～4月）で実施することは可能です。実地調査については、平成25年度の調査実施と計画しています。ただし、その場合でも調査業者との契約は平成25年度となり、調査業務の前払金の納付も必要です。後段については、敷地のうち文化財調査対象エリアが小さいこと、また調査をほとんど終え、埋戻しや矢板撤去の時期となれば、病院工事の一部着手は可能です。また、大阪府教育委員会事務局文化財保護課が調査業務の発注手続きを行うためには提案内容から調査範囲を確定させる必要があるため、基本協定締結後に詳細についての協議が必要となります。	
5	業務要求水準書 （施設整備編）	18	第2	6	(1)	備品等調達業務 業務内容	「備品等配置計画に基づき調達備品等を選定のうえ、調達備品等リストを作成し、」とありますが、4/13配布の「付属資料11 調達・移設備品等リスト」は、どのような方法で作成をされたのでしょうか。また実施方針の業務分担(案)では「大型医療機器調達業務は病院機構が担当」となっておりますが、「付属資料12 大型医療機器等リスト」においては、一部SPC側が担当となっている部分がありますので、業務分担についてご教示下さい。	「付属資料11 調達・移設備品等リスト」については、現病院の備品を基に新病院で設置する備品を参考例として提示したものであり、新病院のレイアウト等によって、メーカー、型番、数量・大きさ等を調整する必要があると考えております。また、SPCによる再調査の結果によっては、移設、更新等の調整を行ったうえで最終的な調達備品を決定していく予定です。「付属資料11 調達・移設備品等リスト」及び「付属資料12 大型医療機器等リスト」に誤りがありましたので、修正いたします。	
6	業務要求水準書 （施設整備編）	20	第2	7	(3)	ア 移転引越業務 移設対象物品想定量	移転対象物品に付属資料12 大型医療機器等リストがありませんが、含まれないとの理解でよろしいでしょうか。	大型医療機器の移設はSPCの業務範囲に含まれます。	

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
7	業務要求水準書 （施設整備編）	20	第2	7	(3)	イ	移転引越業務 移設対象物品想 定量	移設対象物品の「文書、消耗品類」については、『11,000立方メートル程度』と記載されていますが、具体的な名称と梱包の業務区分（SPCか病院か）についてご教示下さい。 例：診療記録、医療材料、薬品、書籍、事務用品など	基本的には、「什器、備品、医療機器」以外のものは、全て「文書、消耗品類」として想定しております。詳細はSPCによる調査業務の中で合わせて確認させていただきたいと考えております。 なお、文書、消耗品、薬品の梱包は病院職員が実施いたします。
8	業務要求水準書 （施設整備編）	21	第3	1	(3)		柔軟性について	柔軟性とは将来の増築、現地建て替えも視野に入れた計画が求められていると考えるべきなのでしょうか。	今の敷地内での増築は難しく増築計画は視野に入れておりません。建物内の柔軟性を提案してください。
9	業務要求水準書 （施設整備編）	21	第3	1	(1)		豊かな環境	今回の施設計画のなかでの患者のプライバシー・アメニティーの考え方をご教示願います。	患者のプライバシー確保は重要な要素であり、各部門の特性に応じた、特徴のあるしつらえを期待しています。 また、患者アメニティーとして、利便サービス施設の充実はもちろんのこと、簡明で、負担の少ない施設計画が重要と考えています。
10	業務要求水準書 （施設整備編）	22	第3	3	(2)		動線計画	診察室後方通路の通路幅の考え方についてご教示下さい。搬送カートの通行等に支障がなければ、柱等の突出物がある場合に、壁芯で1.5mを確保すれば要求水準書を満たすと考えてよろしいでしょうか。 管理部門における通路幅の考え方についてご教示下さい。管理部門における、5室以下の室の利用者が専ら使用する廊下以外の廊下幅については、要求水準書に記載している通路幅の2.2mに満たなくてもよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。 要求水準書のとおりとします。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
11	業務要求水準書 （施設整備編）	23	第3	3	(3)		出入口	研究所へのアプローチを地下通路から連続的に計画し、研究所入口を地下1階に設けた場合には、1階に重ねて入口を設けなくてもよろしいでしょうか。	建物に必要な出入口については、要求水準書P23をご参照ください。 また、その他の出入口について提案することも可能です。 なお、以下の2点が満足されることを条件に、地下連絡通路に直結した職員通用口（病院用および研究所用）およびサブエントランス（サブ玄関）を地階に設置することも可能とします。 1階に職員通用口（病院用）および研究所出入口がそれぞれ設けられていること。 （地下連絡通路は夜間（地下鉄の終発から始発までの間）は閉鎖される予定です。） 地階に設ける職員用通用口に、職員以外の患者や来院者等が間違っ入ることのない計画とすること。
12	業務要求水準書 （施設整備編）	23	第3	3	(3)		出入口	本敷地は両側が北側と比べて約3m高くなっております。そのレベル差を利用して2階に出入口を設け、医事・受付機能を2階、外来を3階に設置する案も考えられますが、要求水準に適合しているとの理解でよろしいでしょうか。	エントランス（主玄関）および総合受付、医事課については、建物の1階に設けてください。 なお、建物の1階レベルは、大手橋線からアプローチできるレベル（概ね府庁別館1階レベル）としてください。 また、エントランス（主玄関）とは別にサブエントランス（サブ玄関）を設けることも可能です。
13	業務要求水準書 （施設整備編）	24	第3	3	(5)	エ	自動ドア	撮影室のスタッフ出入口も自動ドアとするとのことですが、アンギオやCT室のみスタッフ用出入口も自動ドアとしてよろしいでしょうか。	汎用アンギオ室、一般アンギオ室、心臓カテーテル検査室、CT室のみ、スタッフ用出入口も自動ドアとすることとします。
14	業務要求水準書 （施設整備編）	27	第3	3	(8)		セキュリティ	病棟の防犯、患者安全対策の確保について、病棟への入退出管理の必要性の考え方についてご教示願います。	要求水準書のセキュリティエリアに「病棟」を追加条件を変更します。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
15	業務要求水準書 （施設整備編）	28	第3	3	(9)	ア	防災ヘリコプター緊急救助用スペース	防災ヘリコプター緊急救助用スペースの設置が求められていますが、その運営に関して、維持管理業務の範囲外ということでしょうか。	ご理解のとおりです。
16	業務要求水準書 （施設整備編）	29	第3	4	(1)		耐震安全性の目標	上町断層帯地震に対する設計用地震動を考慮した検討における耐震目標性能は明示されていませんが、倒壊防止を目標として各社で適切に設定してよろしいでしょうか。（塑性率、免震クリアランス等）	上町断層帯地震に対する設計用地震動を考慮した検討における耐震安全性の目標は、「倒壊することなく、ある程度の余震にも耐え、人命の安全確保が図られている。（限界状態）」とします。
17	業務要求水準書 （施設整備編）	33	第3	5	(1)	イ (1)	安定したエネルギーの確保	水の備蓄量の原単位は「病院設備設計ガイドライン」に準拠することでよろしいでしょうか。	災害時にインフラ供給が停止した場合の水の使用量は、上水については、飲料水：4L/人・日、医療用水：20L/床・日として算出してください。また、雑用水については30L/人・日の使用のほか、施設の維持管理及び要求水準書に示す災害時においても機能維持を求める設備の運転に必要な水量を適切に想定して算出してください。
18	業務要求水準書 （施設整備編）	41	第3	5	(2)	ウ (ウ)	電気設備コンセント設備	床頭台やランドリーなどの電気使用量請求の為にWHM以外の、自主的に採用するなどした電灯コンセント動力回路へのWHMにつきましては、誤金用でないため、各個別WHM検定つきとしないでもよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
19	業務要求水準書 （施設整備編）	42	第3	5	(2)	ウ (ウ)	電気設備時計設備	電気時計については、手術部等以外は時刻修正電波再送信設備を設けた「水晶発振式電波時計」の採用が必要であるということでしょうか。 また、その場合に「手術部等」に該当する部屋をお示しいただけないでしょうか。	手術部において系統的に制御する時計設備を設置する室は、オペアイマーなど手術室ユニットに組み込まれた時計や手術部門全体で統一した時間の管理を必要とする時計を設置する室です。 その他の室で時計設備の設置を求めている室はすべて水晶発振式の電波時計としてください。 電波時計を電波の微弱な部分に設置する場合には、中継器の設置を求めますが、すべての時計を「時刻修正電波再送信設備を設けた水晶発振式電波時計」とする必要があるということではありません。
20	業務要求水準書 （施設整備編）	42	第3	5	(2)	ウ (ウ)	電気設備電話設備	「無線基地局は敷地内すべての場所において通話可能となるよう計画」とありますが、下記の場所は、その対象外と考えてよろしいでしょうか。 ・シールドされた室（放射線科等） ・職員が行かないエリア（免震階等） ・屋外	シールドされた部屋についてのみ、通話対象外とします。
21	業務要求水準書 （施設整備編）	42	第3	5	(2)	ウ (ウ)	電気設備電話設備	局線中継台の導入席数および想定されているオペレータの人員を教えてください。	局線中継台は4台、うち1台は点字仕様として下さい。職員は4名体制を予定しています。
22	業務要求水準書 （施設整備編）	42	第3	5	(2)	ウ (ウ)	電気設備電話設備	PBXに接続する局線は何回線必要でしょうか。また、災害対策としてアナログ回線も幾つか用意すべきだと思いますが、何回線必要でしょうか。	要求水準書（施設整備編）に追記しました。
23	業務要求水準書 （施設整備編）	42	第3	5	(2)	ウ (ウ)	電気設備電話設備	電話設備の保守条件をご教示下さい。（例：365日24時間故障受付等） 電話機（多機能電話、PHSなど）の予備機は必要でしょうか。また、必要な場合は、何台見込めばよろしいでしょうか。	参考資料9「参考とする現成人病センターの委託業務仕様書等」に「参考資料9-8構内交換電話設備保守業務仕様書」を追記しましたのでご参照ください。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等	
		頁	項							
24	業務要求水準書 （施設整備編）	43	第3	5	(2)	ウ	(7)	電源設備 拡声放送設備	大講堂及び会議室（一部）の7室間での多地点TV会議に関して、利用シーンを教えて下さい。 また、大講堂と各部門の会議室とのTV会議についても利用シーンを教えて頂きたく存じます。	前段については、府民を対象とした公開講座、医師等の研究発表、職員に対する医療安全・感染対策等の研修、国立がん研究センター等関係病院とのネット会議等を想定しています。 後段については、多職種によるカンファレンス等を想定しています。
25	業務要求水準書 （施設整備編）	47	第3	5	(3)	ウ	(7)	空調設備 熱源設備	冷却塔は、密閉式にするとの記載がありますが、懸念されているレジオネラに関しては密閉式、開放式で有意な差はないと思います。ライフサイクルコストで開放式が安価であれば、開放式冷却塔を採用してもよろしいでしょうか。 また、その場合の水処理装置は、薬注装置+プロロー制御程度と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
26	業務要求水準書 （施設整備編）	48	第3	5	(3)	ウ	(1)	空調設備 空調設備	空気清浄度の監視装置を設置し、中央監視室にて管理するとありますが、可搬式パーティクルカウンターを室ごとに設置し、中央監視室の保守員が計測データを管理するとの理解でよろしいでしょうか。あるいは術中等における連続測定を意図したものでしょうか。	中央監視室で継続的に測定記録できるようにして下さい。 要求水準書で求めている測定は、ベッド上の厳密な数値測定を求めているものではなく、室内の日々の状態を継続的に把握することで、空調システムや至環境の異常等を把握することを目的としております。
27	業務要求水準書 （施設整備編）	48	第3	5	(3)	ウ	(1)	空調設備 空調設備	外気負荷削減のためできる限り排気熱回収を行うとの記載がありますが、感染リスクを考えると、全熱交換器を全面的に採用することは難しいと考えます。排気熱回収を行う範囲を医局等、患者にかかわりがないゾーンに限定してもよろしいでしょうか。	できる限りすべての部門での排気熱回収システムの導入をご検討ください。ただし他の方式でも同等の省エネルギー効果が認められるのであれば、他の方式の提案も可能です。
28	業務要求水準書 （施設整備編）	48	第3	5	(3)	ウ	(1)	空調設備 空調設備	ファンコイルユニットなどの空調機は細菌の繁殖がしにくい抗菌仕様のドレンパンを採用するよう指示されていますが、機種に限りがあるため抗菌仕様でないドレンパンの採用も一部認めて頂けないでしょうか。	要求水準書通りとします。 汎用の抗菌仕様製品の設置方法（数量及び位置等）を工夫することで対応してください。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等	
		頁	項							
29	業務要求水準書 （施設整備編）	49	第3	5	(3)	ウ	(1)	空調設備 配管設備	配管系に設ける水処理装置は、開放系統のみに必要と考えます。 そのため、冷却塔が密閉型であれば該当する配管系は無しとしてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
30	業務要求水準書 （施設整備編）	49	第3	5	(3)	ウ	(1)	空調設備 換気設備	自然換気システムとの記載がありますが、感染制御上、安全性を保障することは困難と思われる。 また、「自然換気システム等で省エネルギー」が意味するのは、設備機器ではなく、風や温度差を利用した建築計画による省エネを示唆しているのでしょうか。	風や温度差を利用した建築計画による省エネルギーとご理解ください。
31	業務要求水準書 （施設整備編）	52	第3	5	(4)	ウ	(7)	給排水衛生設備 排水設備	感染系排水処理、検査系排水処理の流入量と流入濃度については、処理能力により、必要スペース、事業金額が変わるため、参考となる資料（データ）が有れば提供いただけませんでしょうか。	PH調整槽については、以下に示す現成人病センター（研究所含む）の容量及び類似事例を参考に提案ください。 病院PH調整槽：約28t（内訳：原水槽12t・中和槽10t・処理槽5t・薬剤タンク0.5t×2台） 研究所PH調整槽：約42.9t（内訳：原水槽20t・中和槽2.5t・処理槽20t・薬剤タンク0.2t×2台） 感染性処理槽については年間の手術件数並びに解剖件数及び類似事例を参考に提案下さい。 手術件数は「参考資料8 業務運営計画書（案）」をご参照ください。 解剖件数については、年間50人程度です。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等	
		頁	項							
32	業務要求水準書（施設整備編）	52	第3	5	(4)	ウ	(イ)	給排水衛生設備給水設備	電源供給の信頼性、ポンプの信頼性が確保できていれば、加圧給水方式の採用は問題ないと思われます。加圧給水方式が採用できない理由をご教示ください。また、高置タンク方式が必須である場合に、塔屋階に設置する冷却塔、屋上散水栓なども含めて高置水槽とする必要がありますでしょうか。	高置タンク方式は電源供給の信頼性及びポンプの信頼性に拘らず、停電時に一定時間の給水が可能であることが採用理由です。後段について、市水道局では、高置水槽後の塔屋階に設置する冷却塔、屋上散水栓等配水方法について、特に定めは無いということでもあり、当該給水は、高置水槽下がりでの配管とする必要はありません。他の方法（加圧給水）は可とします。
33	業務要求水準書（施設整備編）	53	第3	5	(4)	ウ	(イ)	給排水衛生設備排水設備	合流式は不可とのことですが、コスト削減、詰り防止など合流式はメリットが多いと考えます。トイレと付属の手洗器等は合流式としてよろしいでしょうか。	要求水準書どおりとします。
34	業務要求水準書（施設整備編）	55	第3	5	(4)	ウ	(イ)	給排水衛生設備調理設備	下階が機械室、倉庫等の非居室でも二重スラブは必要でしょうか。また、利便施設の厨房下の二重スラブは不要としてよろしいでしょうか。また、最下階であっても、二重スラブは必要でしょうか。	直下階が機械室または倉庫でも二重スラブは必要です。但し、直下階が免震層の場合は、免震層を他用途に利用していなければ、二重スラブは無くても構いません。利便施設の厨房には二重スラブは不要ですが、将来の修繕更新に支障がないよう配慮してください。直下階が免震層の場合は、研究所（R I 部門）以外は、免震層を他用途に利用していなければ、二重スラブは無くても構いません。
35	業務要求水準書（施設整備編）	55	第3	5	(4)	ウ	(イ)	給排水衛生設備医療用水設備滅菌水	医療用水はRO水のみを想定とありますが、諸室シートにある滅菌水とは、限外濾過膜付手洗い用と考えてよろしいでしょうか。	ICUと回復室については、滅菌水からRO水に変更します。研究所では、医療機器として設置する施設で滅菌水を製造するため、医療用水設備として滅菌水を供給する設備は必要ありません。
36	業務要求水準書（施設整備編）	58	第3	6	(3)			構内通路	メンテナンス車両が通行する構内通路は、参考計画図のように主要な建物四周に面させ、一部は広場等に活用することも可能でしょうか。	メンテナンス通路の一部を広場等に活用する提案は可能です。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等	
		頁	項							
37	業務要求水準書（施設整備編）	58	第3	6	(3)			構内道路	メンテナンス用車両通行スペースの使用目的を具体的に指示下さい。（外壁メンテナンス、重量機器の揚重など）	メンテナンスは2t程度を想定しており、建物や外構埋設物のメンテナンスの際に使用します。また、大型機器入れ替えの揚重も想定しております。なお、街区中通りのメンテナンス車両利用はできません。
38	業務要求水準書（施設整備編）	58	第3	6	(3)			構内道路	四周はメンテナンス用車両が通行できるよう計画することとありますが、必ず四周に確保する必要があるでしょうか。	東西南側についてはメンテナンス用の2t程度の車両が通行できる車路と作業エリアを整備して下さい。北側については、車路の確保は任意ですが、メンテナンスに必要な作業エリアを敷地内に確保して下さい。
39	業務要求水準書（施設整備編）	58	第3	6	(1)			駐輪場	自転車利用者の病院へのアクセスは大手橋線と街区中通りのどちらをメインのアプローチとして考えればよろしいでしょうか。	自転車のメインアプローチは大手橋線になると考えています。
40	業務要求水準書（施設整備編）	65	第4	3	(1)	ア	(7) b	一般外来主な機能及び構成	診察室の構成とブロック受付数の設定条件について考え方を聞かせください。	現病院の診療運営体制を基に、関係の深い診療科を数ブロックにグルーピングしたものであり、受付数も必要とされる受付数を要求しているものです。
41	業務要求水準書（施設整備編）	65	第4	3	(1)	ア	b (b)	診察室、処置室等の構成	要求水準に示された診察、処置室数は将来の拡充を見越したある程度余裕のある数値でしょうか。	ご理解のとおりです。
42	業務要求水準書（施設整備編）	66	第4	3	(1)	ア	(7) c	一般外来計画上の条件及び配慮事項	主要な待合と受付の位置関係、見通しについて、他科の受付からでも待合スペースを見通せることで、受付を待合スペースが見通せる位置に配置していると考えてよろしいでしょうか。また、中央診療部門については、主要な待合のみ、受付を待合スペースが見通せる位置に配置することでよろしいでしょうか。	できる限りホスピタルストリートから全ての受付が見通せるよう計画して下さい。検査部門においても、できる限り全ての受付が受付から見通せる計画として下さい。受付の数を増やすことは認められません。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
43	業務要求水準書 （施設整備編）	66	第4	3	(1)	ア	(7) c	一般外来 計画上の条件及 び配慮事項	外来部門について、複数階での分散配置は可能でしょうか。 外来部門については、1フロアでの集約配置を前提としますが、患者の利便性、スタッフ動線の効率化などが図られた配置計画であれば、2フロアでの分散配置の提案も可能とします。 2フロアとする場合は、専門診療科（耳鼻咽喉科、泌尿器科、オーラルケア科（仮称）、婦人科、乳腺外来、眼科、治験外来、遺伝子カウンセリング）を別フロアとすることは可能とします。 受付ブロックと待合の関係については、受付からは待合患者の状況が確認できること。また、待合からは受付ブースが分かりやすい位置にあるように計画して下さい。現病院の診療運営体制を基に、関係の深い診療科を数ブロックにグルーピングしたものであり、受付数も必要とされる受付数を要求しているものです。
44	業務要求水準書 （施設整備編）	66	第4	3	(1)	ア	(7) c	一般外来 計画上の条件及 び配慮事項	「外来部門は、複数階に分散せず、1フロアに集約すること。」とありますが、2フロアに分散配置する提案は可能でしょうか。 外来部門については、1フロアでの集約配置を前提としますが、患者の利便性、スタッフ動線の効率化などが図られた配置計画であれば、2フロアでの分散配置の提案も可能とします。 2フロアとする場合は、専門診療科（耳鼻咽喉科、泌尿器科、オーラルケア科（仮称）、婦人科、乳腺外来、眼科、治験外来、遺伝子カウンセリング）を別フロアとすることは可能とします。 受付ブロックと待合の関係については、受付からは待合患者の状況が確認できること。また、待合からは受付ブースが分かりやすい位置にあるように計画して下さい。現病院の診療運営体制を基に、関係の深い診療科を数ブロックにグルーピングしたものであり、受付数も必要とされる受付数を要求しているものです。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
45	業務要求水準書 （施設整備編）	66	第4	3	(1)	ア	(7) c	一般外来 計画上の条件及 び配慮事項	ホスピタルストリートの形状を曲げたりすることが可能でしょうか。 ホスピタルストリアートの形状について、以下の と の条件が整う場合は提案を可能とします。 外来患者が、迷うことなく短時間で容易に目的の場所に到達できること。 センター職員が、目的場所への経路を案内する場合に、平易な説明でも理解していただける配置計画とすること。
46	業務要求水準書 （施設整備編）	66	第4	3	(1)	ア	(7) c	一般外来 計画上の条件及 び配慮事項	「外来中央部に各ブロックの受付を見通すことが出来るホスピタルストリートを設定すること」とありますが、「ホスピタルストリート」の形状は必ずしも一直線の廊下ではなくてもよろしいでしょうか。 ホスピタルストリアートの形状について、以下の と の条件が整う場合は提案を可能とします。 外来患者が、迷うことなく短時間で容易に目的の場所に到達できること。 センター職員が、目的場所への経路を案内する場合に、平易な説明でも理解していただける配置計画とすること。
47	業務要求水準書 （施設整備編）	66	第4	3	(1)	ア	(7) c	一般外来 計画上の条件及 び配慮事項	感染症対策用病室としての第1種病室及び第2種病室については、感染症指定医療機関の施設基準に関する手引き「厚生労働省健康局結核感染症課長通知」に準じるものと考えてよろしいでしょうか。 『感染症指定医療機関の施設基準に関する手引きについて「厚生労働省健康局結核感染症課長通知」』をご参照下さい。ただし、第1種病室については、独立した排水処理設備を有する必要はなく、感染系排水処理槽と兼用することを認めます。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
48	業務要求水準書 （施設整備編）	67	第4	3	(1)	イ	(7) c	一般外来 計画上の条件及 び配慮事項	救急処置室で受け入れる患者の種類、重症度、頻度及び必要な搬送動線等についてご教示下さい。 救急処置室で受け入れる感染症患者の種類、重症度、頻度及び必要な搬送動線等についてご教示下さい。 各階における搬送動線距離を短くするため、搬送エレベーターを中央エレベーターエリアに集約して設置することは可能でしょうか。 救急患者については、通院患者や以前に当センターの病歴がある患者を想定しており、救急対応は、当面、要求水準の内容を考えています。頻度救急搬送の頻度については、平日昼間は1日3回程度、夜間休日は1日1回程度となっております。夜間休日搬送のうち、3回に1回程度は放射線診断による検査を実施しております。救急処置室で一次的な対応するのが基本ですが、容態によっては専門のドクターが外来診療中であれば外来に、緊急措置が必要であれば病棟等の必要な場所に移動させる運用を想定しております。 感染症患者の救急搬送はございません。院内で発覚した感染患者への対応は行っておりますが、基本的に、救急搬送時に感染症に感染している患者は受け入れておりません。 エレベーターの設置場所については、救急処置室から「外来」「検査」「病棟」への効率的な搬送が可能となるようにご提案ください。
49	業務要求水準書 （施設整備編）	67	第4	3	(1)	イ	(7) c	一般外来 計画上の条件及 び配慮事項	救急患者の受け入れに際して想定される患者の様態、初療の対応方法についてご教示願います。 現時点では想定しているの救急の条件はお示しのとおりですが、長い将来どういう対応が必要となるか、具体的なイメージを今は持っておりません。将来的に、改修等によりスペースの拡充が期待できる計画などの提案がございましたらご提案ください。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
50	業務要求水準書 （施設整備編）	71	第4	3	(1)	イ	(7) c	一般病棟 計画上の条件及 び配慮事項	4床室の中央便所と汚物処理室の具体的な運用方法についてご教示下さい。 4床室と中央便所の分散配置は可能でしょうか。 汚物処理室については、尿器便器洗浄機、蓄尿装置の設置、ポータブル便器の保管棚等を設け、汚物の処理、感染性廃棄物等の処理や集積を行います。 4床室のトイレについては、トイレからの悪臭や騒音の防止、術後退院までの患者の歩行訓練、良好なメンテナンス性の確保、将来の維持管理コストの削減等を総合的に判断して、「中央トイレ方式」としてありますが、同様の機能を確保することが可能であれば、中央トイレ方式のみならず、病室からではなく廊下側からトイレに入る方式を前提に、分散トイレ方式も可能とします。
51	業務要求水準書 （施設整備編）	71	第4	3	(1)	イ	(7) c	一般病棟 計画上の条件及 び配慮事項	成人病センターとして患者アメニティーを考えた場合、分散トイレのほうがそれが高いと考えられますが、4床室用便所を中央方式便所とするその目的あるいは趣旨は何でしょうか。 4床室のトイレについては、トイレからの悪臭や騒音の防止、術後退院までの患者の歩行訓練、良好なメンテナンス性の確保、将来の維持管理コストの削減等を総合的に判断して、「中央トイレ方式」としてありますが、同様の機能を確保することが可能であれば、中央トイレ方式のみならず、病室からではなく廊下側からトイレに入る方式を前提に、分散トイレ方式も可能とします。
52	業務要求水準書 （施設整備編）	74	第4	3	(1)	ア	(7) c	アイソトープ診療科 計画上の条件及 び配慮事項	保管廃棄室から廃棄物を搬出する頻度をご教示ください。 搬出する頻度に応じて考慮すべき搬出方法等の考え方をご教示願います。 頻度は年1回、ドラム缶10本程度を搬出しています。搬出は診療時間内に行うことができ、直接外部に搬出できると望ましいと考えますが、屋内経由の場合は出来るだけ搬出ルートが長くないように配慮し、患者との接触を避けるように計画して下さい。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
53	業務要求水準書（施設整備編）	74	第4	3	(1)	ア	(7) c アイソトープ診療科 計画上の条件及び 配慮事項	保管廃棄室からの搬出ルートは屋内を経由してもよろしいでしょうか。	頻度は年1回、ドラム缶10本程度を搬出しています。搬出は診療時間内に行うことがあり、直接外部に搬出できると望ましいと考えますが、屋内経由の場合は出来るだけ搬出ルートが長くなるように配慮し、患者との接触を避けるように計画して下さい。
54	業務要求水準書（施設整備編）	76	第4	3	(1)	ウ	(7) c 放射線治療科 計画上の条件及び 配慮事項	リニアックの遮蔽安全性を確認した上で、リニアック室の上部下部、その隣接部に常時スタッフや患者等が滞在しない室の設置は可能でしょうか。また、リニアック室との間に非居室を挟んだ居室の設置は可能でしょうか。	リニアック室及びRALS室に接する直上部分、直下部分及び隣接する部分に部屋を設ける場合には、倉庫、機械室、電気室、廊下、サービスヤード以外の部屋は設けないで下さい。
55	業務要求水準書（施設整備編）	76	第4	3	(1)	ウ	(7) c 放射線治療科 計画上の条件及び 配慮事項	リニアック室及びRALS室に接する直上部分、直下部分及び隣接する部分に設けることが可能な部屋があればお示しください。	リニアック室及びRALS室に接する直上部分、直下部分及び隣接する部分に部屋を設ける場合には、倉庫、機械室、電気室、廊下、サービスヤード以外の部屋は設けないで下さい。
56	業務要求水準書（施設整備編）	76	第4	3	(1)	ウ	(7) c 放射線治療科 計画上の条件及び 配慮事項	リニアック室及びRALS室の上部又は下部に居室を設ける場合は、1フロア分を分離すればよいと考えてよろしいでしょうか。また、廊下やロビー空間、更衣室等の非居室であれば、1フロア分を分離せずに配置してもよろしいでしょうか。	リニアック室及びRALS室に接する直上部分、直下部分及び隣接する部分に部屋を設ける場合には、倉庫、機械室、電気室、廊下、サービスヤード以外の部屋は設けないで下さい。
57	業務要求水準書（施設整備編）	76	第4	3	(1)	ウ	(7) c 放射線治療科 計画上の条件及び 配慮事項	参考計画図ではRALS室の上下部に所長室、実験室、診察室等が設けられています。一方、要求水準書では「リニアック室及びRALS室の上部又は下部に常時スタッフや患者等が滞在する居室を設けない」との記載があります。「常時スタッフや患者等が滞在する居室」の定義をお示しください。	リニアック室及びRALS室に接する直上部分、直下部分及び隣接する部分に部屋を設ける場合には、倉庫、機械室、電気室、廊下、サービスヤード以外の部屋は設けないで下さい。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
58	業務要求水準書（施設整備編）	81	第4	3	(1)	ウ	(7) c リハビリテーション 計画上の条件及び 配慮事項	屋上リハビリ庭園は、参考計画図（200平方メートル）程度の大きさでよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
59	業務要求水準書（施設整備編）	81	第4	3	(1)	ウ	(7) c リハビリテーション 計画上の条件及び 配慮事項	現病院のリハビリテーションの外来と病棟の患者数について1日あたりおよそ何人程度でしょうか。又その比率もお聞かせ下さい。	現病院については以下の通りです。 平成23年度データ（年間延人数） 理学療法 入院8,023人、外来580人 作業療法 入院2,431人、外来237人 言語聴覚療法 入院4,805人、外来86人
60	業務要求水準書（施設整備編）	83	第4	3	(1)	エ	(7) c 中央手術科 計画上の条件及び 配慮事項	手術部門の形態を回廊下型とすることについて、その理由をお聞かせ下さい。	回廊下型としておりましたが、他事例等を参考に再検討を行った結果、中央ホール型に変更します。要求水準書を修正します。
61	業務要求水準書（施設整備編）	83	第4	3	(1)	エ	(7) c 中央手術科 計画上の条件及び 配慮事項	中央滅菌既消毒保管室と衛生材料室の配置について、パーティクルカウンター等の使用が可能であることを確認すれば、同一階に配置してもよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
62	業務要求水準書（施設整備編）	86	第4	3	(1)	オ	(7) 薬局 計画上の条件及び 配慮事項	「薬局受付、払い出しスペースカート置場、調剤室は、一体的なスペースとして計画すること。」とありますが、階を分けて、専用階段、搬送設備等で利便性を確保すれば「一体的」とみなして頂けませんか。	薬剤部門・薬局受付の配置について、薬局受付は1階に整備して下さい。それ以外について近接を条件に別フロアに整備することも可能です。ただし、薬局受付と調剤室が別フロアになる場合は、垂直搬送設備等を適切に設けて下さい。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等	
		頁	項							
63	業務要求水準書 （施設整備編）	86	第4	3	(1)	オ	(7) c	薬局 計画上の条件及 び配慮事項	薬局受付だけを上階あるいは、下階に分けることは、可能でしょうか。 薬局受付・調剤室・払出しスペースカート置場と、薬品庫等の他諸室を分けることは、可能でしょうか。	薬剤部門・薬局受付の配置について、薬局受付は1階に整備して下さい。それ以外について近接を条件に別フロアに整備することも可能です。 ただし、薬局受付と調剤室が別フロアになる場合は、垂直搬送設備等を適切に設けて下さい。
64	業務要求水準書 （施設整備編）	86	第4	3	(1)	オ	(7) c	薬局 計画上の条件及 び配慮事項	薬剤部門は、薬局受付と別フロアに配置することは可能でしょうか。	薬剤部門・薬局受付の配置について、薬局受付は1階に整備して下さい。それ以外について近接を条件に別フロアに整備することも可能です。 ただし、薬局受付と調剤室が別フロアになる場合は、垂直搬送設備等を適切に設けて下さい。
65	業務要求水準書 （施設整備編）	94	第4	3	(1)	ク	(I) c	利便サービス・ その他施設 計画上の条件及 び配慮事項	利便施設は1階に配置することとありますが、別フロアに配置することは可能でしょうか。	利便サービス施設の設置場所は地階以外であれば指定は行いません。地階以外の場所に一体的に整備して下さい。外来患者、入院患者、ご家族などの利便性、プライバシーに配慮した設置場所を提案してください。なお、利便施設を1階に設置した場合は、病院利用者の施設であるため、外部の利用者が直接出入りする出入口を設けないでください。
66	業務要求水準書 （施設整備編）	94	第4	3	(1)	ク	(I) c	利便サービス・ その他施設 計画上の条件及 び配慮事項	利便サービス施設であるレストラン・コンビニエンスストア・コーヒーショップへ外部からの顧客を受け入れることはどのようにお考えでしょうか。（外部側に出入口を設けるなど）	利便サービス施設の設置場所は地階以外であれば指定は行いません。地階以外の場所に一体的に整備して下さい。外来患者、入院患者、ご家族などの利便性、プライバシーに配慮した設置場所を提案してください。なお、利便施設を1階に設置した場合は、病院利用者の施設であるため、外部の利用者が直接出入りする出入口を設けないでください。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等	
		頁	項							
67	業務要求水準書 （施設整備編）	97	第4	3	(3)			研究所	研究所における職員・来客・物品・動物の各動線はどのように考えればよろしいでしょうか。	病院職員・来客の動線と分離した動線を想定していますので、適切な提案を求めます。 なお、成人病センターがお示しをした参考計画図の研究所の出入口は、谷町4丁目からのアクセス及び患者が間違っず研究所の出入口に行くことがないように配慮してケーススタディで位置を想定しました。 研究所来客の受付方法については、玄関に風除室を設け、そこにカメラ内蔵の内線電話等を設置し、来所者からのコールがあれば研究所各室で画像により来所者を確認のうえ、リモートコントロールで開錠する方式を想定しております。 物品・動物の動線については、物品等搬入・搬出口からの搬入出を考えています。
68	業務要求水準書 （施設整備編）	97	第4	3	(3)		(7) c	研究部門 計画上の条件及 び配慮事項	研究所の共同研究エリアはオープンラボエリアあるいは動物実験エリアのどちらと近接するのが好ましいでしょうか。ご指示下さい。	共同研究室は動物実験エリアに近接する必要はございません。 オープンラボエリアに近接の方が望ましいと考えております。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
69	業務要求水準書 （施設整備編）	98	第4	3	(3)	(7) c	研究所 計画上の条件及 び配慮事項	<p>研究所の最下階が免震ピット階の場合、免震ピットを二重スラブ（配管ピット）として省略可能でしょうか。</p> <p>動物実験エリアは、マウスのラックやオートクレーブなど重量物を設置するため二重スラブとしてください。 ただし、下部が免震層となる場合には、下層のスラブは必要ありません。 R I 実験エリアは、床面の「気密性・水密性・耐荷重性」が確保される仕様であれば、鋼製二重床の採用も可とします。なお、この場合の放射線管理区域境界は下層スラブとします。 また、R I 実験エリアの下部が免震層となる場合でも、放射線管理区域境界を形成するための下層スラブを計画してください。 動物実験エリア及びR I 実験エリア以外の研究所内の床はすべて鋼製二重床としてください。 なお、鋼製二重床はすべて、将来の間仕切り変更、機器の配置変更等に対応出来るよう、排水管などの勾配が十分に確保できる高さのものとしてください。</p>	

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
70	業務要求水準書 （施設整備編）	98	第4	3	(3)	(7) c	研究所 計画上の条件及 び配慮事項	<p>研究所における二重スラブの気密性、点検口の気密性について、要求される性能について具体的に指示願います。</p> <p>動物実験エリアは、マウスのラックやオートクレーブなど重量物を設置するため二重スラブとしてください。 ただし、下部が免震層となる場合には、下層のスラブは必要ありません。 R I 実験エリアは、床面の「気密性・水密性・耐荷重性」が確保される仕様であれば、鋼製二重床の採用も可とします。なお、この場合の放射線管理区域境界は下層スラブとします。 また、R I 実験エリアの下部が免震層となる場合でも、放射線管理区域境界を形成するための下層スラブを計画してください。 動物実験エリア及びR I 実験エリア以外の研究所内の床はすべて鋼製二重床としてください。 なお、鋼製二重床はすべて、将来の間仕切り変更、機器の配置変更等に対応出来るよう、排水管などの勾配が十分に確保できる高さのものとしてください。</p>	

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
71	業務要求水準書 （施設整備編）	98	第4	3	(3)	(7) c	研究所 計画上の条件及 び配慮事項	<p>研究所の床下は「2重スラブ」の条件がありますが、鋼製で組まれた2重床は可能でしょうか。</p> <p>動物実験エリアは、マウスのラックやオートクレーブなど重量物を設置するため2重スラブとしてください。 ただし、下部が免震層となる場合には、下層のスラブは必要ありません。 R I実験エリアは、床面の「気密性・水密性・耐荷重性」が確保される仕様であれば、鋼製二重床の採用も可とします。なお、この場合の放射線管理区域境界は下層スラブとします。 また、R I実験エリアの下部が免震層となる場合でも、放射線管理区域境界を形成するための下層スラブを計画してください。 動物実験エリア及びR I実験エリア以外の研究所内の床はすべて鋼製二重床としてください。 なお、鋼製二重床はすべて、将来の間仕切り変更、機器の配置変更等に対応出来るよう、排水管などの勾配が十分に確保できる高さのものとしてください。</p>	

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
72	業務要求水準書 （施設整備編）	98	第4	3	(3)	(7) c	研究所 計画上の条件及 び配慮事項	<p>研究所を地下2階（最下階）に配置した場合、床下には免震ビット（配管ビット）があるので、2重スラブは、不要と考えるよろしいでしょうか。</p> <p>動物実験エリアは、マウスのラックやオートクレーブなど重量物を設置するため2重スラブとしてください。 ただし、下部が免震層となる場合には、下層のスラブは必要ありません。 R I実験エリアは、床面の「気密性・水密性・耐荷重性」が確保される仕様であれば、鋼製二重床の採用も可とします。なお、この場合の放射線管理区域境界は下層スラブとします。 また、R I実験エリアの下部が免震層となる場合でも、放射線管理区域境界を形成するための下層スラブを計画してください。 動物実験エリア及びR I実験エリア以外の研究所内の床はすべて鋼製二重床としてください。 なお、鋼製二重床はすべて、将来の間仕切り変更、機器の配置変更等に対応出来るよう、排水管などの勾配が十分に確保できる高さのものとしてください。</p>	
73	業務要求水準書 （施設整備編）	98	第4	4	(3)	(7) c	研究所 計画上の条件及 び配慮事項	<p>R I排水槽は球体のご要望がありますが、なぜ球体のものがよろしいのでしょうか。 直方体としてもよろしいでしょうか。</p> <p>直方体でも結構です。</p>	
74	業務要求水準書 （施設整備編）	99	第4	3	(3)	(1) b	組織バンク（仮称） 主な機能及び構成	<p>病院・研究所・がん予防情報センター3つの施設の連携がうたわれていますが、会議体や勉強会など、運営による連携の仕掛けがありましたらご教示願います。</p> <p>病院・研究所・がん予防情報センターの連携は重要なツールであり、日々三位一体で研究、開発に取り組んでいます。研究会や打合せを行なっておりますが、研究会等の内容・開催頻度は部門ごとに異なることから、提示できません。</p>	
75	業務要求水準書 （施設整備編）	99	第4	3	(3)	(7) c	研究所 計画上の条件及 び配慮事項	<p>「動物実験エリアは専門業者により空調、給水、明度調製、洗浄システムの計画を行うこと」とありますが、各飼育室等で使用する飼育棚・ケージ・ケージワッシャー・滅菌装置等の仕様をご教示願います。</p> <p>備品リストでは、ハムスター飼育棚、自動給水用減圧弁パネル、ケージ・ケージワッシャー・滅菌装置を想定することとしております。 ご理解の通り、SPCの業務範囲です。想定型番を記載しましたものを再作成します。</p>	

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項					
1	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	2	第1	1		対象施設	什器・備品として整備されたものは点検・保守、修繕・更新の対象外とありますが、例えばベッドや椅子のキャスターの修理等、日常的に発生する備品等の簡易な修繕業務は維持管理業務の範囲外との理解でよろしいでしょうか。その場合、備品等の簡易な修繕業務は、別途委託する予定でしょうか。	維持管理業務の範囲外です。修繕は成人病センターが行います。但し、施設整備として設置した建築物、施設に付随する機器等の維持管理についてはSPCの業務範囲内となります。なお、SPCで調達していただく医療機器や什器備品については、メーカー保証書の提出をお願いします。
2	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	2	第1	2	(1)	業務仕様書	実施方針等質問回答書で、「実施設計の終了時までに提出すること」に修正します。と回答いただいておりますが、維持管理業務仕様書は、実施設計図面を元に作成を始めることとなるため、他のPFI事業と同様に維持管理業務開始の6ヶ月前の提出とさせていただきますでしょうか。	要求水準書のとおりとします。
3	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	2	第1	4		業務実施報告書の提出	実施方針等質問回答書で、「報告書は翌月の5日までに提出するとのことですが、ゴールデンウィークや年末年始などの休み明けの際には、提出が困難なため、10日までとしては頂けませんでしょうか。」という意見に対し、「意見として承ります」と回答を頂いておりますが、業務要求水準書や事業契約書（案）へ反映頂きますようお願い申し上げます。	要求水準書のとおりとします。
4	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	3	第1	5		費用負担	蛍光灯などの消耗品について、同費用の負担者を事業者から病院機構へ変更頂けないでしょうか。	要求水準書のとおりとします。

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項					
5	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	5、7、10	第2	1、2、4		要求事項	事業期間終了の1年前に第三者による劣化度診断を行い、実際に修繕・更新を行う範囲は質問回答により、「診断結果に基づき合理的な協議を行える」となっています。「合理的」とは、たとえば、事業終了後、修繕更新を16年目以降に予定しているもので、かつ15年目まで使用に問題の無いものについては修繕更新の判断とならないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
6	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	6	第2	2	(3)	建築物点検・保守、運転・監視、修繕・更新業務要求事項	フィルターの交換について、同費用の負担者を事業者から病院機構へ変更頂けないでしょうか。	要求水準書のとおりとします。
7	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	11	第2	5	(1)	警備業務業務内容	警備業務のうち、物品搬入・搬出口の管理には荷捌駐車場の誘導・管理を含むとありますが、混雑状況に応じて誘導を行うということでしょうか。	ご理解のとおりです。
8	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	11	第2	5	(1)	警備業務業務内容	緊急患者の受け入れ対応及びカルテの在庫について、病院機構が想定されている業務内容を確認させていただきます。	平成23年から電子カルテを導入しております。外来診療時間内に起こった緊急患者の受け入れは、電話交換から主治医に連絡が入り、外来看護師が搬入入り口で患者の受け入れを行い、担当医師が救急処置室で診察に当たります。時間外（夜間・休日）の緊急患者の受け入れは、警備員室から当直医師に電話を繋ぎ当直看護師が救急搬送入り口で患者の受け入れを行い、当直医師が救急処置室で診察を行います。
9	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	11	第2	5	(1)	警備業務業務内容	共同駐車場の誘導、料金徴収業務の実施について、事業者から病院機構へ変更頂けないでしょうか。	要求水準書のとおりとします。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
10	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	20	第3	1	(5)	イ	レストラン運営業務 実施日及び実施時間	要求水準にレストランの営業時間は「少なくとも11時00分～20時00分の間は営業するものとする」とありますが、3/13に公表された質問への回答で、病院関係者による団体利用等の貸切利用は通常営業時間外で実施することを想定しているとのことあります。営業開始時間・終了時間ともに上記時間帯外での設定も可能という理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。営業時間の延長は可能です。
11	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	22	第3	1	(7)		理容室運営業務	店舗の名称のみならず業態についても「理容」と「美容」を可能とし、事業者が選択できるようにご再考いただけないでしょうか。	女性客の美容室ニーズは把握しているものの、法的に美容業態では男性客の顔剃りに十分な対応ができないと判断されることから、業態は「理容」とします。なお、店舗の名称は理容に拘りません。現成人病センターの理容室の一日平均利用者数は5～6人で、男女比はほぼ同数です。医療用かつらの試着・相談会等については、新病院での新たな取り組みとして計画しているため、開催実績はありません。現在は、院内にパンフレットの設置等のみ行っております。
12	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	22	第3	1	(7)		理容室運営業務	患者等の利便性に配慮し、業態を「理容室」ではなく、「美容室」として提案することは可能でしょうか。	女性客の美容室ニーズは把握しているものの、法的に美容業態では男性客の顔剃りに十分な対応ができないと判断されることから、業態は「理容」とします。なお、店舗の名称は理容に拘りません。現成人病センターの理容室の一日平均利用者数は5～6人で、男女比はほぼ同数です。医療用かつらの試着・相談会等については、新病院での新たな取り組みとして計画しているため、開催実績はありません。現在は、院内にパンフレットの設置等のみ行っております。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
13	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	22	第3	1	(7)		理容室運営業務	業態を「理容」とする理由をご教示ください。 現成人病センター内の理容室における利用者の男女比率についてご教示下さい。 （理容室ではなく）現成人病センターにおける医療用かつらの試着・相談会等の開催状況についてご教示下さい。	女性客の美容室ニーズは把握しているものの、法的に美容業態では男性客の顔剃りに十分な対応ができないと判断されることから、業態は「理容」とします。なお、店舗の名称は理容に拘りません。現成人病センターの理容室の一日平均利用者数は5～6人で、男女比はほぼ同数です。医療用かつらの試着・相談会等については、新病院での新たな取り組みとして計画しているため、開催実績はありません。現在は、院内にパンフレットの設置等のみ行っております。
14	業務要求水準書 （維持管理・利便サービス業務編）	22	第3	1	(7) (8)		理容室運営業務 床頭台運営業務	年間のご利用者数とご利用単価、TVのご利用金額をご教示いただけないでしょうか。	TV、床頭台の利用実績はつかめておりません。病床稼働実績〔500床、約90%（年間）〕を踏まえて検討ください。23年度のカード売上は300万円/月（平均）で、単価は提示資料の通りです。理容室の利用は5～6人/日（平均）男女比はほぼ同数です。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
1	付属資料1 面積表	1					注意事項	付属資料 面積表によると計画面積の許容範囲は記載面積の -5% ~ +10%の範囲とあります。サービス向上に繋がる提案の場合でも、上限面積の +10%を超えることは不可でしょうか。	-5% ~ +10%の範囲でご提案ください。
2	付属資料2 諸室シート	2					隣接・近接の基本的考え方	「隣接」、「近接」の条件についてより詳しくご教示下さい。 原則として、「隣接」とは、壁を隔てて直接接するよう配置することを求める部屋を、「近接」とは、機能上、2室間を患者・スタッフ等が容易・迅速に移動できるよう配置・動線に配慮を求める部屋を示しています。なお、参考計画図はケーススタディであり、提案を拘束するものではありません。 具体的には、隣接として、室と室間で直接行き来する必要がある諸室は諸室シートのとおりです。また、隣接は廊下を介して隣合う室が基本ですが、正面3室等、概ね直接的に行き来できる場合や上下に直接的に繋がる諸室を隣接しているときとみなします。近接は廊下等を介して教室離れた室に行き来する場合を指します。また、上下階であっても階段及びEV等で距離的に短い場合には近接と見なします。 なお、諸室シートに「隣接・近接の基本的考え方」を追記してありますので、ご参照ください。	

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
3	付属資料2 諸室シート	2					隣接・近接の基本的考え方	「隣接」、「近接」の条件についてより詳しくご教示下さい。 原則として、「隣接」とは、壁を隔てて直接接するよう配置することを求める部屋を、「近接」とは、機能上、2室間を患者・スタッフ等が容易・迅速に移動できるよう配置・動線に配慮を求める部屋を示しています。なお、参考計画図はケーススタディであり、提案を拘束するものではありません。 具体的には、隣接として、室と室間で直接行き来する必要がある諸室は諸室シートのとおりです。また、隣接は廊下を介して隣合う室が基本ですが、正面3室等、概ね直接的に行き来できる場合や上下に直接的に繋がる諸室を隣接しているときとみなします。近接は廊下等を介して教室離れた室に行き来する場合を指します。また、上下階であっても階段及びEV等で距離的に短い場合には近接と見なします。 なお、諸室シートに「隣接・近接の基本的考え方」を追記してありますので、ご参照ください。	

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
4	付属資料2 諸室シート	2					隣接・近接の基本的考え方	「隣接」、「近接」の条件についてより詳しくご教示下さい。 原則として、「隣接」とは、壁を隔てて直接接するよう配置することを求める部屋を、「近接」とは、機能上、2室間を患者・スタッフ等が容易・迅速に移動できるよう配置・動線に配慮を求める部屋を示しています。なお、参考計画図はケーススタディであり、提案を拘束するものではありません。 具体的には、隣接として、室と室間で直接行き来する必要がある諸室は諸室シートのとおりです。また、隣接は廊下を介して隣合う室が基本ですが、正面3室等、概ね直接的に行き来できる場合や上下に直接的に繋がる諸室を隣接しているとみなします。近接は廊下等を介して教室離れた室に行き来する場合を指します。また、上下階であっても階段及びEV等で距離的に短い場合には近接と見なします。 なお、諸室シートに「隣接・近接の基本的考え方」を追記してありますので、ご参照ください。	
5	付属資料2 諸室シート						各シートの(3)設計上の留意点	諸室シートの設計上の留意点で「一体的に使用できるように・・・。」とは具体的にどのような仕様でしょうか。特に調剤室周りの諸室（払出しスペース・カート置場、薬品庫、薬品管理室、薬局倉庫）については具体的な明記がされていません。ご教示願います。	
6	付属資料2 諸室シート						各シートの(7)空調調和設備温湿度条件	湿度条件の50%を冬場で維持する外壁周りの仕上げ材は結露を生じる恐れがありますが、湿度条件の50%維持の意図をご教示願います。 諸室シートの湿度条件は、空調設備機器の設計と条件として示しています。すなわち50%の湿度条件を確保できる機器の設置を求めているとお考えください。ただし、特殊条件として湿度を設定している部屋については、内装条件に配慮して下さい。	

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
7	付属資料2 諸室シート						N068	「医事課」の面積は、諸室シートの設計上の留意点で記載されている面談室も含めた面積でしょうか。	ご理解のとおりです。
8	付属資料2 諸室シート						N0103、104	4床室の室面積と4床室が主に使用する便所の面積を4床室の数で投分した面積の合計が4床室1室あたりの面積45㎡（-5%～+10%）と考えてよろしいでしょうか。	全ての4床室の室面積と、4床室が主に使用する全ての便所の面積の合計について、4床室の合計室数で除した面積が4床室1室あたりの床面積です。
9	付属資料2 諸室シート						N0217	諸室シートの設計上の留意点に示されているMR室の寸法は、機械室、前室、操作室などの部分を含まない寸法と理解すればよろしいでしょうか。 また、MR室のレイアウトによっては、機械室の出入口を操作室側または通路側の1か所としてもよろしいでしょうか。 機械室については、1か所に集約化することは可能でしょうか。	ご理解の通りです。 機械室については、必ず廊下側（メンテナンス業者用）と操作室側（スタッフ用）の両方からの出入口を設けること。 機械室の集約については、異なるメーカーのMR機器の設置も想定されること及び装置によっては機械室と装置の距離に制約があることから、各MR室専用の機械室の設置をお願いします。
10	付属資料2 諸室シート						N0241	「レントゲンフィルム保管庫」の諸室シートでは「将来・・・利便サービス施設と一体的に計画する。」と書かれていますが、参考計画図では、そのようになっていません。「レントゲンフィルム保管庫」の1室は近接または隣接する条件ではないでしょうか。	参考計画図1階のレストラン横にある倉庫がレントゲンフィルム保管庫に該当します。

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項					
11	付属資料2 諸室シート					N0252、253、254、255、257	アンギオ関連室のUPSの電源供給について医療機器側で停電時に医療行為を継続するために必要なUPS電源を確保し、発電機回路で撮影を含むフル電源バックアップを確保することとしてもよろしいでしょうか。	諸室シートでUPS電源を求めている室は必須要件とします。UPSの設置は、原則は瞬時停電による操作機器（CPU等）の停止、誤作動、データの消失を防ぐためのものです。UPSには停電時、瞬時の電源確保を想定しており、診断、治療及び撮影時の電源供給は想定していません。撮影のための装置の駆動に要する電源は、発電機回路によるバックアップで問題ありません。
12	付属資料2 諸室シート					N0315	RI～動物飼育エリア間の実験動物の動線・実験フローをお教え下さい。動物乾燥室、放射線管理区域内の動物飼育室・動物実験室は不要でしょうか。	RI研究室と動物飼育エリアは、必ずしも隣接する必要はありません。放射線管理区域内の動物飼育室・動物実験室については、将来的には「RI実験室【2】（P1）」の活用を想定しております。
13	付属資料2 諸室シート					N0342	臨床研究室の諸室シートでは、「病理診断科と臨床検査科のどちらにも近接するよう計画すること。」となっていますが、参考計画図ではそのように配置されていません。臨床研究室の業務上の管理範囲はどこまでおよぶのか。ご教示願います。	諸室シートにより配置計画を検討して下さい。参考図面の配置はあくまで参考です。臨床研究室の管理範囲は、病理細胞診断科（病理検査）部門です。
14	付属資料2 諸室シート					N0802、803	「がん予防情報センター」の諸室シートでは、「執務室」及び「倉庫」は1室となっていますが、参考計画図では各課ごとに室を分けて配置しています。その方がよろしいのでしょうか。	要求水準書並びに諸室シートに基づき計画ください。
15	付属資料2 諸室シート					N0417	諸室シートの「手術ホール」に隣接する「患者情報センター」とは、参考計画図中の「術中情報センター」のことでしょうか。又、どのような用途かをご教示願います。	前段については、ご理解のとおりです。後段については、全手術室の手術状況を生体情報モニター等により監視・管理する機能をもった部屋です。

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項					
16	付属資料2 諸室シート					5階平面図	参考計画図に「骨髄バンク」室がありますが、諸室シートにはありません。設置すべき場合、条件等を、お聞かせ下さい。	諸室シートN0555の「事務室4」がそれに該当します。
17	付属資料2 諸室シート					N0552～555	「事務室1～4」の諸室シートでは「成人病センターと連携する各種団体の事務室として使用する。」とありますが、参考計画図では一部の部屋（事務室1、4）が見当たりません。配置に対して条件等がありましたら、ご教示願います。	諸室シートの「事務室1」は参考計画図5階の「倉庫」がそれに該当します。また、諸室シートの「事務室4」は参考計画図5階の「骨髄バンク」がそれに該当します。
18	付属資料2 諸室シート					N0914、915	RI実験室において、「災害時において24時間稼働可能な計画とする」という意味は、災害後は24時間稼働させるということでしょうか。	災害時にも換気システムが継続して稼働する必要がありますということです。
19	付属資料2 諸室シート					N0906、914、915、917、939、940	実験室の床は全て水洗いは行わないものと考えてよろしいでしょうか。	実験室の床は水洗い不要ですが、洗浄室は水洗い可能にしてください。
20	付属資料2 諸室シート					N0927～930	動物飼育室及び動物実験室の床は水洗いは行わないものと考えてよろしいでしょうか。	動物飼育室と洗浄室は水洗い可能にしてください。
21	付属資料11 調達・移設品等リスト 付属資料12 大型医療機器等リスト					各種システムに係る端末機器等の移転引越について	付属資料には「動急システム、情報システム等、各種システムに係る端末等は含まない」とありますが、各種システムに係る端末等の移転引越も病院側が行うとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
22	付属資料12 大型医療機器等リスト					メーカー名、型番	メーカー及び製品名の指定がある医療機器を同等の性能のある医療機器に変更可能でしょうか。	調達品目は提案による変更が可能です。なお、メーカー名はあくまでも例であり、センターが同一メーカーの備品を希望しているわけではありません。また、大型医療機器の調達は本事業の範囲外です。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
23	付属資料12 大型医療機器等リスト						病院側調達医療機器のレイアウト情報について	付属資料には「PF1事業者が行う『現有備品調査業務』及び『設計業務』等において、配置等を含め具体的に確定していくもの」とありますが、「病院側で調達される医療機器等の選定のコンサルタント業務」は病院側という理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。但し「病院側で調達される医療機器等...」の「等」には什器備品が含まれます。成人病センターが購入する医療機器のうち、設計に影響を与える可能性がある場合には、SPC側と調整させていただきたいと考えております。
24	付属資料12 大型医療機器等リスト						TV撮影室内の医療機器について	TV撮影室内に設置する医療機器とその取り扱い区分をご提示ください。（リストには記載がありません）	調達・移設備品リストに記載しております。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
1	参考資料3 参考計画図						地下1階平面図	オープンラボに接するクラス10000の実験室には前室が設けられておりません。クリーンエリア区域境界の設定の考え方をご教示願います。	オープンラボと実験室の間の扉は、通常の人の出入に伴う開閉程度ではクリーン管理上問題はないと考えており、前室の設置までは考えておりません。
2	参考資料3 参考計画図						地下1～地下2階平面図	地下の居室環境向上のため、奥行きが1m程度の間隔があるドライエリアでも提案は可能でしょうか。	窓からある程度の採光を得ることができるスペースの確保や、壁面緑化など、狭いスペースなりのご提案をお願いします。
3	参考資料3 参考計画図						1階平面図	1階に地下部分をオーバーハングしてリニアックが設置されています。上下階に対する居室部分への安全性、動線計画に支障が無ければ地下階への移動、平面的な移動を提案してもよろしいでしょうか。	提案は可能です。なお、リニアック室及びRALS室に接する直上部分、直下部分及び隣接する部分に部屋を設ける場合には、倉庫、機械室、電気室、廊下、サービスヤード以外の部屋は設けないで下さい。
4	参考資料3 参考計画図						3階平面図	内視鏡室の上部と下部のゾーンを分離する意図をご教示願います。	前処置の手法が違い同じ場所だと混乱するため、内視鏡室の上部と下部のエリアを分離しています。
5	参考資料3 参考計画図						4階平面図	「がん予防情報センター」の諸室シートでは、「医療情報部」との近接及び隣接の条件がないのですが、参考計画図では「医療情報部」と隣接がなされています。考慮する必要がありますか。	考慮する必要はありません。
6	参考資料3 参考計画図						4階平面図	参考計画図の室の位置関係について趣旨をお聞かせください。参考計画図において、大講堂とサテライトキャンパスが近接で計画されていますが、諸室シートに近接の記載はありません。離して計画しても問題ないでしょうか。	大講堂とサテライトキャンパスは近接条件はありません。なお、小会議室のうち1室については大講堂の控え室としても使用することがありますので大講堂に近接させて設けて下さい。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
7	参考資料3 参考計画図						4～6階平面図	会議室をある程度集中配置して、フリーアドレス制の会議室等の提案は可能でしょうか。	会議室をある程度集中配置することは可能です。なお、小会議室のうち1室については大講堂の控入室としても使用することがありますので大講堂に近接させて設けて下さい。フリーアドレス制の会議室等の提案は不可とします。ただし、それぞれの会議室を遮音性のある可動壁で区切れることが出来る会議室の設置は可能です。
8	参考資料3 参考計画図						5階平面図	看護実習生の活動範囲等の考え方についてご教示願います。	看護研修室、看護実習室、看護実習生室は同一フロアが望ましいです。なお、参考計画図はケーススタディです。また、看護実習生の活動範囲は病院全体（研究所を除く。）です。
9	参考資料3 参考計画図						5階平面図	参考計画図の室の位置関係について趣旨をお聞かせください。諸室シート「事務室1～4」について、事務室2,3は隣接となっていますが、事務室1,4には隣接、近接の記載はなく、また参考計画図にも見当たりません。配置の条件はありますか。	5F倉庫を「事務室1」、5F骨髄バンクを「事務室4」といたします。なお、2室とも近接および設置階の条件はございません。
10	参考資料3 参考計画図						7～12階（病棟）平面図	参考計画図の室の位置関係について趣旨をお聞かせください。説明室（2室/看護単位）の内1室を、スタッステーションではなく、デイルームに近接してよろしいでしょうか。	要求水準書どおりとします。

No.	資料名	該当箇所（修正前）					タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項						
11	参考資料3 参考計画図						7～12階（病棟）平面図	参考計画図の室の位置関係について趣旨をお聞かせください。4床室を病棟内で2つのグループに分かれて配置する場合は、グループ毎に集中トイレを設置してよろしいでしょうか。	4床室のトイレについては、トイレからの悪臭や騒音の防止、術後退院までの患者の歩行訓練、良好なメンテナンス性の確保、将来の維持管理コストの削減等を総合的に判断して、「中央トイレ方式」としておりますが、同様の機能を確保することが可能であれば、中央トイレ方式のみならず、病室からではなく廊下側からトイレに入る方式を前提に、分散トイレ方式も可能とします。
12	参考資料3 参考計画図						7～12階（病棟）平面図	薬剤師や理学療法士などコメディカルの控入室が要求水準にはありませんが、病棟での医療への参加はどのように行われるのでしょうか。	薬剤師や理学療法士などコメディカルの控入室は、各部門内に設置しております。病棟におけるチーム医療については、病棟内の研修室、カンファレンス室等を有効に活用して行いたいと考えております。
13	参考資料3 参考計画図						塔屋（13階）平面図	屋上面の「R」の表記について、入斜角等は消防等との協議事項と思われませんが、入札時は原案の角度を守ればよいでしょうか。	ご提案の建物高さ、形状、ヘリポートの設置位置、および周辺建物の配置・形状を考慮し、一般的に入手可能な情報をもとにご提案ください。

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項					
14	参考資料3 参考計画図 参考資料4-2 発掘調査範囲想定図					配置図 埋蔵文化財未調査範囲	<p>参考計画図の通りに地下2階建てでその下層に免震層を設ける場合、構造体を施工するための仮設構築物（例えば引き抜き型アースアンカー等）は敷地境界を越えてもよろしいでしょうか。</p> <p>また、敷地内埋蔵文化財未調査範囲のうち新成人病センター建物が建たない部分に仮設構築物（例えば引き抜き型アースアンカー等）を設置する場合、その範囲の埋蔵文化財未調査は不要と考えてもよろしいでしょうか。</p>	<p>敷地範囲をこえるアースアンカーの施工は不可とします。</p> <p>アースアンカーの施工に際しても、原則、調査が必要ですが、アースアンカーの施工による埋蔵文化財の破壊が著しく小さい場合などは個別の判断となるため、事前協議が必要な事業予定者は、下記により大阪府教育委員会事務局文化財保護課担当者と個別に協議して下さい。</p> <p>【大阪府教育委員会事務局文化財保護課調査管理グループ】 072-291-7401</p> <p>協議を希望する場合には、事前に約束をとり、その際は、「大手前地区の成人病センターに係る文化財調査の件」と問い合わせして下さい。</p>
15	参考資料7 動物実験エリア気圧勾配概念図					室内環境について	<p>スタッフ通路の間にある前室により区分されていますが、エリア奥側SPF・クリーン動物、手前がコンベ動物を扱う飼育室との理解でよろしいでしょうか。そうであれば、コンタミネーション防止のため、別ルート及び回収廊下等の設定を行う必要がありますか。</p> <p>また、測定室と動物飼育室の間の通路の目的・意味を教えてください。</p>	<p>当研究所ではコンベ動物は扱いません。従ってコンタミネーション防止が必要な動物は混在しません。全て同グレードの動物と考えて構いません。</p> <p>測定室と動物飼育室の間の通路は、ケーススタディ上避難通路として設置しているものです。</p> <p>別ルート及び回収廊下等の設定は必要ありません。</p>
16	参考資料8 業務運営計画書（案）	97				計画搬送系統図	<p>各室の配置計画を見直した結果、計画搬送系統図で示された室が上下ではなく、同一階隣接や近接となった場合は、エアシューターの設置は不要としてもよろしいでしょうか。</p>	<p>計画搬送系統図のエアシューターは、諸室の隣接・近接にかかわらず全て必要です。</p>

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項					
17	参考資料8 業務運営計画書（案）	96、97				物品搬送系統図 計画搬送系統図	<p>(4)物品搬送系統図、(5)計画搬送系統図のどちらで計画すればよろしいでしょうか。（各病棟のIPシューターの利用方法は、病棟にシューターと垂直搬送の両方が必要か、垂直搬送の各階搬出入口は水平搬送は人によると判断してよいか、Q1,3手術室(サ7作業局)はシューターでよいか、Q2,4内視鏡はシューターまたは各階搬出入口利用でよいか、Q5研究所組織バソカと手術室、病理の休日の搬送は、シューターでよいか。）</p>	<p>計画搬送系統図を「正」とします。物品搬送系統図を修正します。</p>
18	参考資料9 参考とする現成人病センターの委託業務仕様書等	44				有人常駐警備等業務及び駐車場管理業務仕様書	<p>S P Cの緊急時対応体制を提案する為、参考とする現成人病センターの病院内の対応体制をご教示下さい。また病院側のマニュアル等がございましたらご開示下さい。</p>	<p>参考資料9「参考とする現成人病センターの委託業務仕様書等」に「参考資料9-10 防災マニュアル」を追記しましたのでご参照ください。</p>
19	参考資料9 参考とする現成人病センターの委託業務仕様書等	74				総合的病害虫管理業務（I P M）仕様書	<p>現行仕様書に「感染症隔離解除後の病室内除菌業務」がありますが、本事業には含まれないとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>
20	参考資料10 平成22年度成人病センター電気・ガス・水使用実績					平成22年度成人病センター電気・ガス・水使用実績	<p>実績データの範囲は、既存病院と健康科学センター内研究所部分の合算でしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項					
1	落札者決定基準	9				維持管理業務	現成人病センターにおける省エネルギー関連の組織及び活動状況についてご教示下さい。	省エネルギー関連の組織はありません。
2	落札者決定基準 様式集及び記載要領	9 136				地域経済等への配慮 (様式10-2)地域経済等への貢献に係る提案	地域の企業が各業務受託企業から業務を受託又は請負うの形でも地域経済への貢献は十分可能と考えられますので、そのような形で評価基準を変更していただくようご検討をお願いします。	「地域経済等への貢献」については、地域の建設企業との協力体制や地域の人材活用・資材調達等に関して優れた提案がなされているかという視点から評価するものです。したがって、「地域経済等への貢献」に係る評価点の配点は、「地域の企業がSPCから直接、受託又は請負う場合の各業務における受注額及び受注率」だけでなく、「地域の企業や地域経済の活性化につながる新たな雇用、資材調達」（様式10-2の2）や「社会的貢献活動についての提案」（様式10-2の3）を含め、総合的に評価することとしております。
3	落札者決定基準 様式集及び記載要領	9 136				地域経済等への配慮 (様式10-2)地域経済等への貢献に係る提案	落札者決定基準の評価項目にて「地域の建設企業との協力体制」が評価の視点とされています。その主旨は、SPCから直接請負う建設企業が府内に本店を置く企業であるかどうかではなく、その建設企業が地元の協力企業にどれだけ多く発注することができるか、との理解でよろしいでしょうか。また、その場合は様式集（様式10-2）を修正いただけないでしょうか。	「地域経済等への貢献」については、地域の建設企業との協力体制や地域の人材活用・資材調達等に関して優れた提案がなされているかという視点から評価するものです。したがって、「地域経済等への貢献」に係る評価点の配点は、「地域の企業がSPCから直接、受託又は請負う場合の各業務における受注額及び受注率」だけでなく、「地域の企業や地域経済の活性化につながる新たな雇用、資材調達」（様式10-2の2）や「社会的貢献活動についての提案」（様式10-2の3）を含め、総合的に評価することとしております。

様式集及び記載要領

入札説明書等に対する個別対話の結果

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等
		頁	項					
1	様式集及び記載要領					2. 記載の内容及び方法	Microsoft Word 又は Excel形式にて作成とありますが、Word形式についてはPDFでの提出とすることを認めていただけないでしょうか。	様式集の記載要領のとおりとします。
2	様式集及び記載要領					3. 書式等	様式内に既に用意されている項目について、項目追加や順番変更を認めていただけないでしょうか。	変更は可能です。
3	様式集及び記載要領	68				(様式6-4)各部計画要求水準確認表	本様式は基礎審査において要求水準の達成を確認されるためのものと理解してよろしいでしょうか。また、定性的審査の対象となる場合に、「」、「」は入札参加者が主観的に判断してよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
4	様式集及び記載要領	79				(様式6-12)建築計画に関する提案7(構造計画)	提案の主要ポイントとして、「2.長周期地震動に対する考え方」と「3.東海・東南海・南海地震に対する考え方」とありますが、重複する内容が多いように思われます。項目を分けている理由を教えてくださいませんか。	長周期地震動については、東海・東南海・南海地震に限らず、影響が想定される地震動全般についての考え方をお示しください。東海・東南海・南海地震に対する考え方は、発生地域を特定した地震動に対する考え方をお示しください。それぞれについて考え方が示されているものであれば、項目別に記載していただく必要はありません。

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等	
		頁	項						
1	事業契約書案	49				第98条 運営会議等 第99条 調整会議等	事業契約上設置される会議体（運営会議、調整会議）についてご教示下さい。	明確に分けた概念はなく、それぞれの会議で想定しているのが、事業報告、収支報告、モニタリングによって業務改善が必要になった場合、また事業者から改善要望があった場合の協議の場と考えております。出席者については未定です。	
2	事業契約書案	66	別紙5	第4条	(2)	別紙5 建物賃貸借契約の様式 第4条 2	事業契約書（案）P 66 別紙5 建物賃貸借契約の様式 第4条2項について、賃貸料交渉の主体は甲のみでなく、乙からも交渉の申し出ができるという認識でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。	
3	事業契約書案	67	別紙5	第13条		別紙5 建物賃貸借契約の様式 第13条	事業契約書（案）P67賃貸借契約書様式13条において、利便サービス業務に係る損害のうち本体部分の損害については、同契約書（案）P 90(2)アの分担が適用となるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。	
4	事業契約書案	75	別紙6	3	(3)	ア	別紙6 モニタリング 3(3) 要求水準が満たされていない場合の措置	事業契約書（案）P75（3）要求水準が満たされていない場合の措置の項で、モニタリングで債務不履行とみなされる基準(イ)に度重なるクレームの発生と改善の未実施(年間1回の改善要求措置)とありますが、クレームの内容、発生件数、頻度において想定されていることがあればお聞かせください。	例としては、SPCの業務内容が要求水準ないしは提案内容を満たしていないことに起因したクレームに対して、SPCが改善しようとしなない場合が考えられます。
5	事業契約書案	75	別紙6	3	(3)	ア	不安全、不衛生な状態の発生について	事業契約書（案）P75（3）要求水準が満たされていない場合の措置の項で、モニタリングで債務不履行とみなされる基準(ア)に「病院運営、患者の環境に重大な影響を及ぼす不安全、不衛生な状態の発生」とありますが利便サービス業務において該当すると想定されている事象があればお聞かせください。	例としては、食中毒等により営業停止となり利用できない状態が発生した場合が考えられます。

No.	資料名	該当箇所（修正前）				タイトル	対話での質問・意見等	対話での回答等	
		頁	項						
6	事業契約書案	82	別紙7	2	(1)	別紙7 業務の対価及び改定 施設整備業務費用相当額	事業計画立案のために必要ですので、施設整備業務費用相当額の支払い時期をお示しく下さい。 または、現時点で支払日が開示できない場合であっても、「病院施設の所有権移転後、何日以内に支払う」又は「開院後、何日以内に支払う」等の目安をお示しく下さい。	施設整備業務の対価は、平成28年度末に一括払いの予定です。施設整備業務が完了し、機構の完了確認を受けた後、請求書の提出（機構の受領日）から30日以内の支払いとなります。	
7	事業契約書案	82	別紙7	2	(1)	別紙7 業務の対価及び改定 施設整備業務費用相当額	質問回答にて契約締結時に協議の上決定すると示されましたが、SPCの資金計画立案において必要となる為、入金日を設定して下さい。	施設整備業務の対価は、平成28年度末に一括払いの予定です。施設整備業務が完了し、機構の完了確認を受けた後、請求書の提出（機構の受領日）から30日以内の支払いとなります。	
8	事業契約書案	85	別紙7	3	(2)	ア	別紙7 業務の対価及び改定	維持管理業務の対価の物価変動指数は、人件費と相関関係が高い指数を選定して頂けないでしょうか。	ご意見を踏まえて、改定の基準となる指数を変更いたします。
9	事業契約書案	85	別紙7	3	(2)	ア	別紙7 業務の対価及び改定	実施方針等質問回答書で、「維持管理業務費用の改定の基準に「建物サービス」の指数を用いられておりますが、人件費のウェイトが高い維持管理費と「建物サービス」の指標とでは実態から大きく乖離しているものと思慮いたします。つきましては、維持管理費と相関関係が深い指標（日本PF1・PPP協会推奨の厚生労働省の毎月勤労者統計調査等）にすることを検討いただけませんか。」という意見に対し、「意見として承ります」と回答を頂いておりますが、業務要求水準書や事業契約書（案）へ反映頂きますようお願い申し上げます。	ご意見を踏まえて、改定の基準となる指数を変更いたします。